

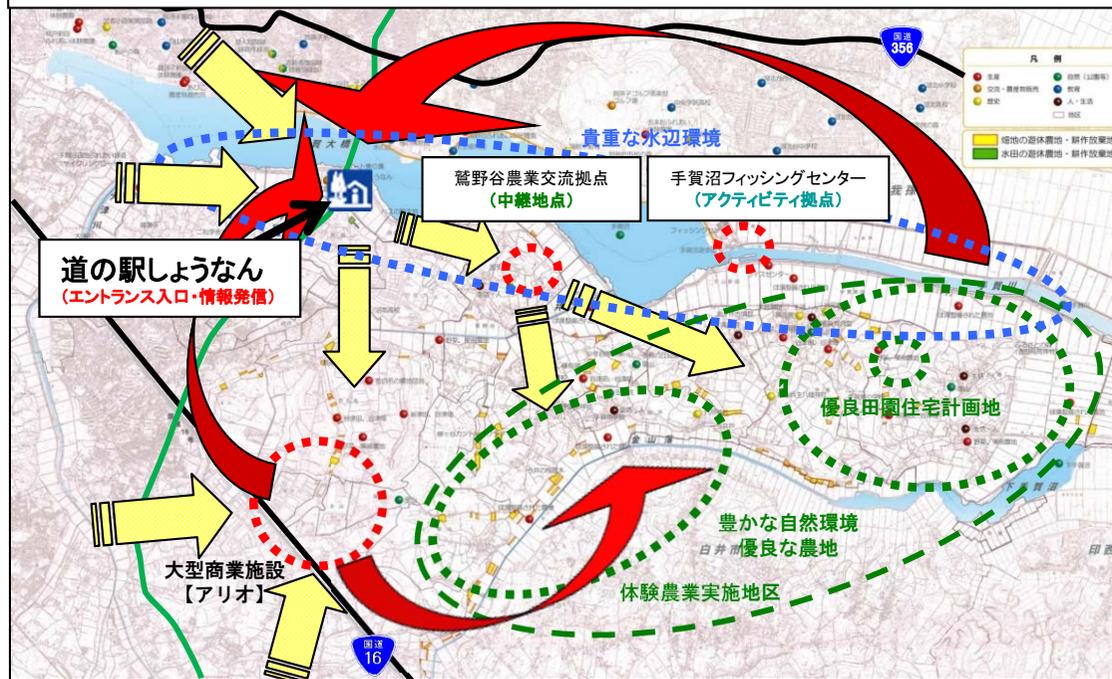
- 道の駅を「都市部と農村部とを繋ぐエントランスパーク(入口)」とし、「集客」「販売」「地域の情報発信」を行う
- 道の駅に「地域の主要産業である農業を振興」させる機能を強化
- 道の駅で「来訪者の地域交流」を促進する機能の強化

〈地方創生拠点としての機能〉

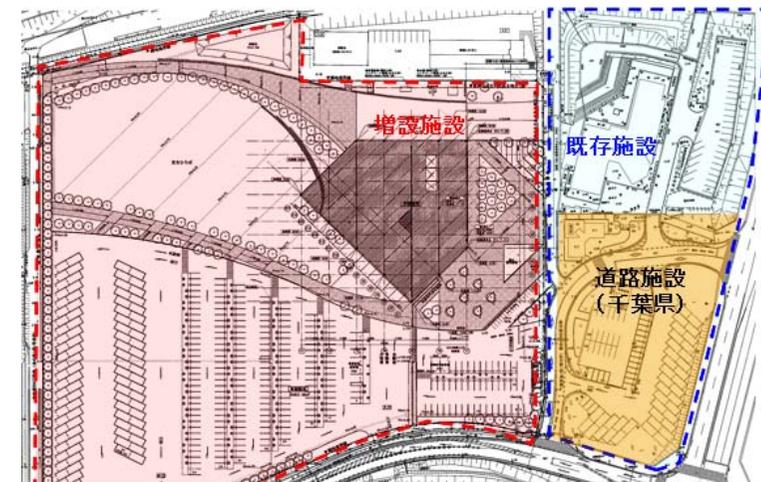
ゲートウェイ型

手賀沼周辺地域の地域資源や交流拠点と連携し、地域のエントランス、情報発信及び販売拠点機能

手賀沼アグリビジネスパーク事業のグランドイメージ



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
しょうなん	千葉県	柏市	県道8号	既設	平成13年	一体型



〈整備後〉	敷地面積	35,775㎡	〈現在〉	敷地面積	13,300㎡
	駐車台数	約290台		駐車台数	約190台 (臨時含)

〈提案の先駆性・ポイント〉

農業衰退を契機に地域衰退が進みつつある手賀沼地域において、ハード・ソフト両方の強化で、「地域の魅力」と「地域の稼ぐ力」を高め、地方創生を果たす

- 道の駅を都市部と農村部を結ぶエントランスとして再整備し、集客・販売・地域情報の発信の拠点とする。(農産物を作れば道の駅で売れる→農業が活性化)
- 道の駅の再整備だけでなく、自然・歴史・文化等、地域資源のプログラム化を同時に進め、道の駅内外に展開することで、従来地域になかった観光面から、地域参画による集客と交流・活性化を進めている。(体験産業による農業の多様化)
- ギャラリー(屋根付歩行空間)と情報発信、交流スペース、会議室を新たに整備し、農業だけでなく、多様な産業の参入と連携を可能にすることで、道の駅を産業集積による地方創生拠点として再整備を進めている。(手賀地域版産業革命)

〈実施内容〉

〈道の駅しょうなんの拡張整備(ハード面)〉

- ・農業振興機能を強化(直売所拡張, 加工体験施設)
- ・産業振興機能を強化(ギャラリー, 情報発信・交流スペース, 会議室)
- ・情報発信機能を強化(収穫体験や観光農園, 地域の取り組み, 周辺施設等)PR
- ・レジャー機能を強化(広場, サイクルラック, 水辺利用)
- ・駐車場機能を強化(台数増設, 大型バス増設, 路線バスターミナル整備)

〈手賀沼アグリビジネスパーク事業を中心に、地域活性化の仕掛け(ソフト面)〉

- ・地域の取り組みの相談を受け、サポート(体験プログラムづくり, 情報発信)
- ・マーケティング等将来のDMO化に向けた取り組み(持続可能な体制づくり)
- ・産業集積に向けた取り組み(産業支援員によるマッチング, 産業技術展の開催)